

メデルホームつうしん

元気にがんばっています

《新型コロナによる供給制約とウッドショックの影響》

「つうしん夏号」で新型コロナがアメリカの新築住宅需要増をもたらし、木材流通価格にも影響していることをお知らせしましたが、今なお影響が続いている。新築住宅建築に使われる木材の7割弱が輸入材であることから、この事をきっかけに国産材へ切り替える意見もあります。しかし、国内林業は労働力不足・市場価格が維持できない、国産材の性能等の問題があり、海外依存度の高さを浮き彫りにしました。今後国産材の活用を含め対策が求められています。又、半導体に於いても新型コロナウイルス感染対策の緩和を受けて経済活動再開を進めるインドネシア日系製造企業が原材料（アルミや銅など）価格や輸送料の高騰、半導体の急激な需要増などの影響を受けています。

輸送用機器関連製造業・電気機器製造業などは半導体を含む部品不足により製造が追いつかず、市民生活にも影響が出ています。
(資料 経済産業省 ジェトロ)

当然、当社に於いても木材不足・価格の高騰、半導体不足からトイレ・電気機器等の品不足などの影響を受けています。トイレや便器、木材がこれ程不足する事態は今まで経験がありませんでした。より一層物を大切に、リサイクル精神を社員に徹底する良い機会にしたいと思います。なかなか現場がスムーズに進まず、お客様にご不便をおかけしております。緊張しながらではありますが、私も社員も体調を崩さず元気に頑張れていることに感謝しかありません。

2022年が良い年になる事を願い今年最後のご挨拶とさせていただきます。

メデ名建業株式会社
代表取締役 蝦名大典

《プランター菜園》

私のプランター菜園は、お隣のご主人がトマトの果実から採取したトマト・種から育てたキュウリの苗を頂いたのをきっかけに5年ほど前から始めています。今年は新型コロナの影響なのかななかな気乗りがせずにいたところ、ご近所のおばあちゃんから「今年は遅いね～いつもこの元気な野菜を見るのが楽しみで散歩のコースを変えたのよ」と声を掛けられ「へ～私の菜園が一役かっていたのか・・・」と嬉しくなりいつもより出遅れましたが今年も始めることに。野菜たちの小さな苗に「元気に育ってね！」と一声かけてトマト・キュウリ・ナス・ピーマン・パプリカ・大根・葉物と家の廻りはプランター銀座になります。今年は昨年食べたカボチャの種、枝豆、花オクラ（オクラと間違って購入）・トウキビ（漬物たるに穴を開け）・ズッキーニを植えてみました。分かったことは、カボチャ・ズッキーニは雌蕊と雄蕊の開花時期が違うため一苗ではダメだという事つまり、プランター菜園には向かないことが分かりました。ぐんぐん大きくなる野菜たちには、元気をもらいます。乾燥した小さな種から命が芽吹くなんて不思議です。最初にこのこと発見した人は誰だったのか？小さな種や苗に思いを巡らす時も楽しいひと時です。

11月には土・プランターを片付け野菜たちとの一年が終わります。 えびな ゆき子



2021年冬号

§ お客様紹介 §

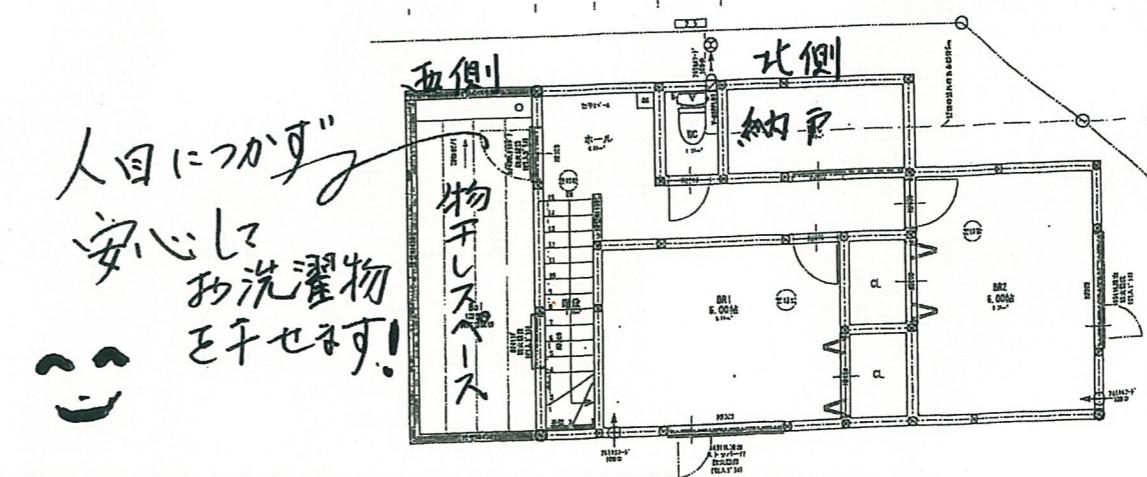
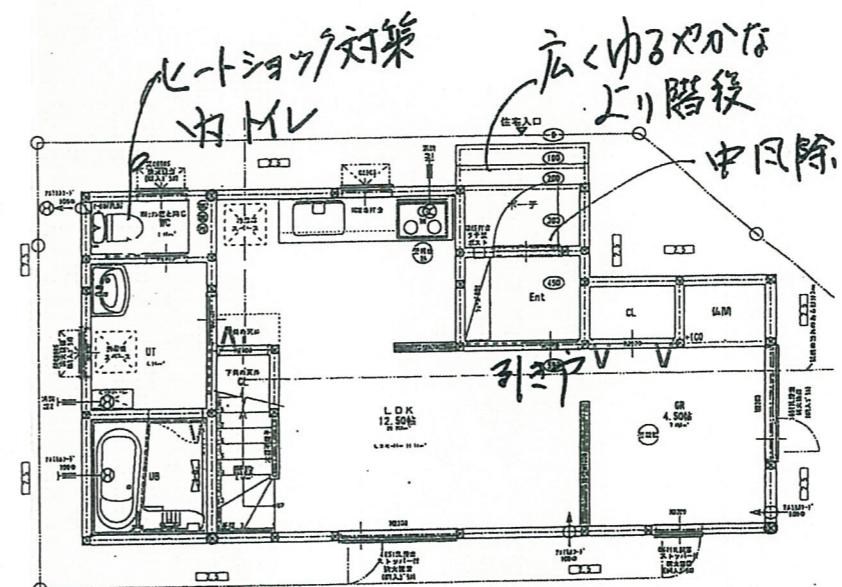
中央区 S邸 夫婦 二人 北東角地

お客様の要望は ①シンプルで動きやすい②洗濯物は二階に干したい③暖かいこと

1階の居間・キッチン・居室はワンルームのように動きやすく

玄関～直線で入れる居間・ヒートショックを考えトイレを洗面所に設置

暖かい居間からの階段・二階は人目にふれない西側物干し場・北側に納戸を設け寒さ対策



Instagram
もご覧ください



ホームページ
当社ホームページもご覧になって下さい
www.medel-ebina.net

